

山口県助産師職能委員会 研修報告

平成26年11月15日(土)、山口県看護協会研修会館において、「分娩介助のコツ」が開催されました。新人助産師19名、助産師9名が参加されました。

県医療センター院内助産「SUN」から小野本先生と前田先生をお招きして、講義とデモンストレーションをしていただきました。先生方は山口県助産師会のメンバーとして「SUN」の開設にご尽力され、現在もご活躍中です。

講義では、小野本先生が「分娩介助のコツ」として、「コツはない。あるとしたら、コツは産婦様の側においてジッと待つこと」そして、「助産師は人が好きであること」と話され、長年の助産師活動から得られた沢山の経験談を交え、分娩各期に応じたスキルを講義されました。



デモンストレーションは、前田先生が担当され、怒責時のこえのかけ方、助産師の位置、娩出の方法を学びました。娩出される瞬間は、参加者の息が静まり、本当に赤ちゃんが生まれたような雰囲気でした。



参加者はスキルを学び、今後のお産に生かしていきたいと答えていました。

また、「助産師は、寄り添う・触れる・一人にしない(程よい距離を保ちながら)」と話されていたことは心に残ったことと思います。

新人助産師研修は新人はもちろん、先輩助産師ご自身の復習、新しい知識の習得、ラダーを踏まえた研修として公開講座としています。また、講座のご希望もお聞きしています。たくさんの方のご参加をお待ちしています。